

令和6年度 授業改善推進プラン（全体）

学校名 豊島区立 池袋第三小学校
校長名 塩田 英俊

学校の教育目標		
人間尊重の精神を基調として、心身ともに健康で豊かな人間性と向上心を培い、時代の変化に主体的に向き合い、多様な文化や考えを認め尊重しながら、自ら考え判断し、主体的に行動することができる、よりよい社会の創り手としての資質・能力の基礎をバランスよく身に付けた児童を育成する。 ○よく考える子 ◎思いやりのある子 ○じょうぶで元気な子		
学力に関する目指す児童像		
「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」 対話を通して自分の思いや考えを、広げたり、深めたりして、言葉や文章で伝えることのできる児童		
授業改善推進プランの全体像		
本校の児童の課題 ① 自分の考えや思いを文章や言葉で表現し相手に伝えることが苦手。 ② 問題解決の場面で、自分の考えに根拠をもち、論理的に考えていくことが苦手。 ③ 自分で課題を見出し、問題解決に主体的に取り組む力が弱い。		
自ら課題を見出し 学習意欲を高める	見通しをもち 問題解決をする	丁寧な振り返り 次の学習につなぐ
導入・課題提示の工夫	・学習プロセスの細分化 (学習計画の作成) ・児童との共有	・自己評価・相互評価の工夫 ⇒自己の課題への気付き
身近な事象との関連付け	・解決方法の提案・選択	・学んだことをアウトプット する工夫
目的・ねらいの明確化	・自分の考えをもつ活動 ＝時間の確保と 教師の支援	・良さを認める 自己肯定感の向上
ICT の活用 ・情報収集能力の育成 ・考えの共有化 ・視覚的な学習支援		
◎言語活動の充実 ・文章を書く活動の確保 ・自分の考えを説明する場面の設定 ・話の聞き方の指導		
◎校内研究 ・学級会活動における話し合い活動の活性化 ・自分の考えや思いを伝える力の育成		

令和6年度 授業改善推進プラン（各教科）

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
言語活動を通して日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、（書くことを中心に）思考力や想像力を養う。		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	話し方や聞き方、書き方、音読の仕方を概ね理解しているが、話したり書いたりするときの丁寧さに課題がある。	国語科以外の教科でも、「池三あいうえお」の徹底や、自力解決の際などに、早さではなく、丁寧さを重視して行うことを指導する。
低	助詞を正しく用いたり、長音や拗音、促音を正しく表すことや、文章を組み立てる際に、順序立てて書いたりすることに課題がある。単語と単語の結びつきに苦手意識がある児童が多い。	国語科の授業で様々な文章に触れ、文の構成理解につなげる。国語科以外の教科でも、文章を書く際に正しい見本を示しながら細かく指導していく。日記、行事ごとのふりかえり文の指導を増やす。書いた文章を音読させることで声に出して自分の書いた文章を振り返らせる。
中	情報と情報との関係や語と文との続き方を説明する文章を書くことや自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことが苦手。またローマ字を正しく読むことができない。	「はじめ・中・終わり」の構成や段落ごとのつながり、理由をもとに説明できる力を伸ばす。作文指導では、段落構成やつなぎ言葉など、文章の型を示し書く活動を行う。朝の時間などを活用し、ローマ字打ちでのタイプ練習を行う。
高	文章の構成の理解が低いが多い。また、自己の意見・考えを文章に表すのが苦手。情報の扱い方に関する事項（応用）が区内平均より低く、課題がある。書くことに課題があり、書き慣れていない児童も多い。	音読の練習を増やし、様々な文章に触れさせる。話型を意識して、書いたり話したりできるような文の書き方を指導する。書く機会を意図的に増やし、書く習慣を身に付ける。

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり、解決したりする活動を通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	課題を捉えることができるが、調べ方を自ら選んで解決する力が少ない。資料から事象を読み取ったり、活用することが苦手である。	資料を読み取る際には、教師がどのような見方・考え方を働かせたいのかを意識し、授業で使用する。複数の情報を関連付けて社会的事象の特色や意味を考え説明する活動や、学習で身に付けた知識を使って自分で考えた図や文などでまとめる活動を単元内に意識的に設定していく。

高	<p>基礎・応用が区内の目標値に達していない。</p> <p>国土の自然環境と国民生活は正答率が区内を上回っている。</p> <p>農業や水産業に関する正答率が低い。</p> <p>主体的に取り組む態度は区内平均よりも低い。</p> <p>資料の読み取りが弱い。</p> <p>表面的な知識の取得にとどまっている。</p> <p>資料から読み取れることを自分事・具体として考えていない。</p>	<p>社会的な見方・考え方を身に着けられるよう、資料の提示の仕方を工夫する。</p> <p>課題を解決したり追及したりする活動を多く取り入れる。</p> <p>社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちにできることなどを考えたり、社会への関わり方を選択判断できる活動を単元に内に意識的に設定していく。</p>
---	---	--

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
<p>基礎的な知識・理解を根拠に筋道を立てて考え、話し合いや集団検討を通して多様な見方や考え方に気づき、すすんで問題解決しようとする態度を養う。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	<p>基礎的な知識をもっている児童が多いが、数の構成についての理解に課題がある。</p>	<p>半具体物を用いて数の構成を捉えられるようにし、段階的に理解を深めていく。</p>
低	<p>基礎的な知識は定着しているが、文章問題において、問題の場面を想像して立式することに課題がある。</p>	<p>問題を図に表したり具体物や半具体物を用いて、数量関係の理解を深めたりすることで、問題場面の想起を促し、立式できるようにする。問題文を丁寧に読み取る活動を充実させ、繰り返し計算問題を解き、習熟を深める。</p>
中	<p>計算処理は得意だが、式の意味を理解し、計算の仕方の説明することや、図形や立体を構成する辺、面、頂点それぞれの意味や数の理解に課題がある。</p>	<p>問題の場面をテープ図や線分図を授業で活用していき、視覚的にできる力を伸ばす。</p> <p>具体物やデジタル教材を提示して多面的な見方やとらえ方ができるようにする。問題解決の際に根拠や考え方を説明する場面を設定した授業を展開する。</p>
高	<p>知識として、公式等の扱いはできるが、応用問題や、概念の理解ができていない。作図やデータの活用に課題がある。</p> <p>文章問題では、問題の意図まで読み取らずに解くため単位が抜けていたり、誤答する。</p>	<p>既習事項を適宜確認したり、反復練習を通して定着を図っていく。</p> <p>問題を書く際には聞かれていることに線を引くことで、問題の意図を再度確認する時間を設け、正しい答え方ができるよう促す。</p>

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
理科の見方や考え方を働かせ、問題を見出し、見通しをもった実験・観察を行い、結果を整理し考察する活動を通して、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	問題解決学習の各ステップにおいて、「問題づくり」の段階から多くの児童につまづきが見られる。生活経験の浅さから、自然事象への関心や知識・理解が低く、それ故に問題を見出す力に課題がある。また、立てた問題が自分事として捉えきれていないため、その後の実験結果の整理や考察をうまくまとめることができず、苦手意識につながっている様子である。	問題づくりに至る事象提示において、注目させたポイントを確認にし、視点がぶれないようにする（多問題などにならないように配慮する）。具体物を提示することが困難な単元においては、視聴覚教材などを効果的に活用する。「なぜ?」「どうして?」という疑問の声を起点に、子どもたち主体で問題を見出していく流れをつくる。また、実験結果の予想には十分に時間をとり、「どうしてそのような結果になると思うのか?」など、その根拠も示すようにさせ、苦手意識のある児童には、どこに注目して考えればよいのかなど、ポイントとなる視点を提示する。
高	基本的な知識・理解に課題が見られる。学習塾などにおいて先行した学習を行っている児童もいるが、得た知識を生かして思考することが苦手である。一問一答のような、知識のみを問う問題などには正答できても、「なぜそうなるのか」「結果からどのようなことが言えるのか」など、説明を求められる問いには消極的になる傾向がある。問題解決学習の各ステップにおいて、自身の考えに根拠を持たせることや、予想と結果との違いに気づき、そこから考えを広げることなど、論理的な思考過程において、大きな課題を感じる。	子どもがこれまでもっていた見方や考え方で説明ができない事象を見せるなど、認知的な葛藤を誘発する教材を提示する。先行学習により、「知っているから」と学習に消極的になりがちな児童も、「どうなるのだろうか?」と意欲をもち、主体的に問題解決に取り組むことができる。 問題解決の流れについて視覚的に捉えられるよう、理科室内にステップチャートを掲示する。仮説の立て方、考察のまとめ方の例などを記した“ヘルプカード”も併用することで、考え方を適切に文章に表現する方法について、適宜確認できるようにする。また、仮説や考察のまとめ方が上手な児童のノートを、『ノート名人』として掲示し、常に児童の目にとまるような教室環境をつくる。

5 生活科

目指す児童像を基にした生活科での育成したい資質・能力		
自分の思いや気付きを大切に、友達と対話を通して身の回りの生活に生かしたり、様々な学習と結び付けながらよりよくしたりしようとする力。		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート	身の回りの環境や事物に対する関心が	実際の活動を通して、経験を増やしていく事で自

カリキュラム	高い児童が多い。しかし、日常生活に結びついていない事が課題である。	分とのつながりを意識していけるようにする。
低	学校の中で自分に関わる多くの人の存在に気づき、自分達の学校生活をよりよくしようとする意欲を高められた。植物の生長の新たな気づきを見つけることはできるが、比較して表現する観察の力は不十分である。学習した内容を他の単元に結びつけて考えることが苦手。	観察前に前回の様子を振り返り、それが今回どうなっているかという目的意識をもたせる。また、手本となる文を示す。 単元始めにこれまでの学習を振り返る時間を設定する。

6 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分ごととして捉え、解決に向けて取り組む児童 ・楽しんで他者と協働しながら表現や考えを広げ深める児童 ・学びを振り返り、身に付けたことを次の学習や生活に生かしていこうとする児童 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	意欲的に取り組んでいる。 音楽づくりの学習への抵抗感がある。	音楽づくり分野の進め方など、音楽主任を含め事前に教材研究し、題材の関連性をもたせながら段階的に学習を進める。
中	意欲的に取り組む学級が多い。 グループ学習を活用し助け合いながら学習する場を多く設けたが、雰囲気は学級での格差がある。 歌唱の学習で、知識・技能を活用しながら表現に向かう学習がやや弱かった。	領域・分野の関わりをもたせ、バランスよく学びが深まるようにする。 引き続きグループ学習を効果的に活用できるよう、協働学習の意味を共有しながら進める。 歌唱表現への取り組みを、ワークシートを工夫しながら主体的に学んでいく学習課程を構築する。
高	具体的にもつことができた課題に向かって主体的に取り組んでいる。 音楽の構造と曲想や音楽のよさなどとの関わりについて、音楽的に見方・考え方を働かせた学習には個々の差が大きい。	学習発表会での発表の場を活用し、教材研究によって、学習活動の組み立てをしっかりと行い、進める。 主体的に学習を進めるワークシートなどを工夫し、個々で、グループで課題に向かえるような学習展開を工夫し、評価が見えるようにする。

7 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、つくりだす喜びを味わい、自分の感じたことや思い、考えを深める力を養う。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	物作りに対して意欲をもっている児童がいる反面、苦手意識をもつ児童も複数名いる。また、創造的に作ることが苦手な児童がいる。	導入の際に、作品の完成イメージがもてるように、言葉や、簡単な絵などを思考ツールを用いて想像を広め、苦手な児童への支援になるようにする。
中	題材に関心をもって活動に取り組めるが、用具の使い方が分からなかったり、指示が複雑になると活動が停滞する児童がいる。	毎時間のめあてや活動を明確にし、作品が完成するまでのプロセスを細分化する。また、用具の使い方や授業の流れをイラストや文字で黒板にまとめることで指示を視覚化するようにする。
高	自分の思いを明確にもち、深めながら作品をつくり進めることが課題である。	ワークシートを活用し、アイデアを出したり、書いてまとめる時間を取るようにする。自分の思いや表したいことを作品をつくりながら振り返ることができるようになる。

8 家庭科

目指す児童像を基にした家庭科での育成したい資質・能力		
自分の生活に関心を持ち、基礎的基本的な知識や技能を身に付け、自分の生活に主体的に課題を見だし、家族や周りの人々のために問題解決をしようとする子		
学年	現在の状況	改善のための取組
高	・意欲的に取り組む子が多いが、家庭での経験の違いもあり、知識に差がある。	・実生活と座学を結びつけて活用し、調理実習、制作の機会を増やし、知識・技能の定着を図る。

9 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	体を動かすことに意欲的であるが、単元によって児童の差がある。また、随意運動に課題があり、思ったように体を操作できない児童が多い。	運動遊びの楽しさに触れられるように教師が場などを工夫し、どの単元でも意欲的に取り組めるように促す。ウォーミングアップでまねっこ遊びや指示ゲームに取り組み、自分の体の部分を意識して動かす練習をしていく。
中	運動経験の少なさから基本的な身体操作がうまくできない児童がいる。また、児童同士の対話が上手にできず、	学習カードやタブレットを積極的に活用し、技能のポイントを明確に示すことで思考的に身体運動ができるようにしたり、誰もがより楽しく取り組み

	課題解決のための工夫を考える活動が定着していないことが課題である。	るようなルールを共有したりする時間を確保していく。
高	活動には意欲的であるが、基本的な技能が身に付いていない児童が多い。	映像や学習カード等を活用し、自己の力に応じた運動の仕方を理解できるようにし、互いに見合ったりアドバイスをし合ったりする活動を増やしていく。

10 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語科等での育成したい資質・能力		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと・話すことの言語活動を通して、楽しく誰とでもコミュニケーションを図ろうとする力を養う。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	意欲的に取り組んでいる。時数に限りがあるため内容の精選が必要。	ALT と協力して年間の学習指導計画を見直す。
中	ALT のリピートなど意欲的な態度を示す児童が多い。キーフレーズの活用では、未定着な児童も複数いる。	明示的な誤りの指摘を避け、リキャストなど暗示的な指導や聴覚中心のインプットを多く取り入れる。
高	単語はよく知っている。チャンツなどにも恥ずかしながら取り組める。プレゼンテーションや会話の際に、相手意識が乏しい。	外国語だけではなく、普段の教科の学習から相手意識をもって伝えることを心がけできるようにする。

11 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	場面や登場人物の心情をよく考えて発表することは意欲的であるが、友達の意見から考えを広げることは不十分である。また、価値項目を自分事に落とすまで深まらない。	ロールプレイングなどの動作化の活動を通して、自分事として場面を捉えさせる。そこから登場人物の心情を考え、自分の経験をふりかえり、これからの生活に生かせるようにする。 教材研究を学年で取り組み、学年間の実践を見合うようにする。
中	道徳的な価値を意識した記述ができたり多様な考えを認めたりすることができるが、友達の考えを聞いて、より多面的・多角的な見方へ発展させることが不十分である。また、自己を振り返って考えることが苦手である。	教師が、児童の発言それぞれを認める反応をする。多面的な見方をしてよいことが分かるよう、広がりある板書をする。自己の振り返りでどのようなことを書けばよいか分かるように、教師がノートを見て何人かの児童を取り上げて紹介する。

高	<p>自己の振り返りが少しずつできるようになっているが、他者の意見を聞いて自分の考えを広げたり、深めたりすることが苦手である。また、意見を発表する児童に偏りが見られ、ペアやグループで共有する時間をとらないと自信がもてない児童がいる。</p>	<p>ICT 機器等を使い、人の意見を含めより自分事としてとらえるような指導展開をしていく。</p> <p>名札の使用や心のメーターなど、児童の意見の可視化を行う。意見を共有する時間を設定する。</p>
---	--	---

1.2 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
<p>実社会や実生活の中から課題を見だし、協働して情報を集め、整理・分析ができる力。また、更にそこから新たな課題を見つけて問題解決しようとする力。PDCAを繰り返して問題解決し、表現できる能力を養う。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<p>情報収集方法にインターネットを使うことが多く、課題に合った情報の集め方ができない。また、集めた情報から自分達の課題に必要な情報を精選したり、伝える為に分かりやすくする力が身に付いていない。</p> <p>環境学習の自然体験など体験的な活動に対する意欲が高い。学習したことを発信する力を高めていく。</p>	<p>教師が単元のねらいとする課題に合わせて、人材を活用、本やインタビューなどのインターネット以外の情報の集め方を教えていく。また、集めた情報を自分自身がまず理解しているか、課題に合ったものか授業内で随時指導をしていく。</p> <p>多様な発信の仕方を紹介したい体験したりする中で活動や目的に適した発信の仕方を選択できるようにしていく。</p>
高	<p>調べた内容をそのまま転記する児童が多い。得た情報から自分の考えとして広げ、深めができない。</p> <p>課題を見つける・調べる・まとめるなど、それぞれの力の差が大きい。</p> <p>課題を自分のこととして捉え、生活に生かそうとする意識をもたせる。</p>	<p>横断的に様々な、教科で物事への興味・関心を高め、問題・課題を書き結できるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な所から課題を見つける。 ・発表する対象を児童に考えさせることで、より具体的な解決方法を見つけさせる。

1.3 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
<p>集団や社会の形成者としての見方や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団活動の意義を理解したり行動の仕方を身に付けたりして、自己の生き方について考えを深め自己実現を図ろうとする態度を育てる。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>学校に慣れ、学級に親しみを覚え、学級</p>	<p>学級生活をよりよくするために、自分達で学級を楽</p>

	のために当番活動をするに対して意欲的であるが集団意識の醸成が必要。	しくするための係活動に取り組ませる。学級会でより学級をよくしていきたいという思いをもたせるために、教師が多様な案を伝えていく。
中	行事やたてわり活動に対する意欲が高い。子どもまつりでは、児童が主体的に考えて計画、実施することができた。高学年に向け活動の企画・実行をする立場になることに対する見通しをもたせていく必要がある。	行事や学級会でも、児童が達成感を得られるように主体性を大切にしていく。各活動に対して振り返りをする時間を設け、企画側の視点をもって振り返ることも行う。学級活動Ⅰの時間を活用し、自分たちで運営する活動の体験を進める。
高	話し合う議題の設定が難しく、意見の伝え合いにとどまってしまうことがあった。「話し合い」「振り返り」「実践する」という一連の学習の流れを達成できた。	学級会の一連の流れをなるべく多く経験させ、話し合いの仕方を身に付けさせる。またさらに深めた内容になるように、友達の意見を尊重し、合意形成を図っていく。

1.4 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
低	・学校行事や生活科での交流を行った。2年生は、あゆみ学級のリトミックの時間に来てもらう交流を始めた。通常の学級に在籍する児童と特別支援学級に在籍する児童の相互理解を引き続きすすめていきたい。	・環境の調整や突発的な行動に備えて、通常学級の担任と支援学級の担任が事前に打ち合わせを行う。 ・少しでも相互理解が行えるよう、児童が関わり合える活動を取り入れ、交流の機会を増やす。 ・1年生もリトミック交流を行い、関わりを広げていきたい。
中	・通常級の3年生があゆみ学級で給食を食べる交流を始めた。4年生の来てもらう交流を検討している。3年生は、町探検に参加し、昨年の学習を広げる活動ができた。4年生においては、ヤゴ救出大作戦に参加し、共同学習をすすめた。	・どのような学習活動に交流が行えるかを、担任同士で打ち合わせをし、合わせて児童の情報共有を行う。 ・教員が個別に言葉掛けや身体ガイドを行い、円滑に学習がすすめられるよう支援する。 ・共同学習に繋がるような、交流場面を増やす。
高	・宿泊行事や学校行事を中心に、通常学級と特別支援学級の児童の交流を行った。より児童同士の相互理解が図れる関わり合いを児童側から自然に生まれるようにしたい。6年生は朝の支度の時間に、低学年のお手伝いに来てもらう交流を行った。6年生主催のお楽しみ会に招かれ、関わりが広がった。	・児童の実態に合わせて、教科学習での参加や特別活動、委員会活動にも交流及び共同学習を行っていく。 ・事前に見通しがもてるよう事前に流れを伝え、状況に合わせて個別の言葉掛けを行う。 ・継続のための交流活動を相談して進める。